

鶴ヶ島市立南小学校

学校だより

学校HP



# かがやき

10月号 NO.7

令和8年10月1日



## 言葉の力は 心の力

～子どもたちの未来を拓く、温かい言語環境～

校長 中田 雅也

子どもたちが交わす言葉は、その時々の人間関係や心の成長を映し出す鏡のようなものです。幼児期や小学校低学年では、言葉による深刻なトラブルはさほど見られませんが、子ども同士のつながりが強くなる中学年以降になると、その言葉遣いに明らかな変化が生まれてきます。

この時期の子どもたちは、成長とともに自分でもうまく処理できない、複雑な心情を抱くようになります。そうした心の揺れ動きの中で、テレビやゲーム、SNSなどを通じて知った刺激的な言葉を、本来の意味をよく理解しないまま、自分の気持ちの表現として現実の友達関係の中で使ってしまうことがあります。しかし、その中には、残念ながら現実の世界で使用するには不適切で、知らず知らずのうちに相手を傷つけ、悲しませる言葉も少なくありません。

「言葉は口から出るものではなく、心から出るもの」と言われます。これは、発せられた言葉そのものが、その人の心のありようを表すという意味です。たとえ本人に悪気がなく、意味がわからないままに使っていたとしても、乱暴な言葉を使い続けていれば、周囲からは「よくない心の持ち主」と認識されかねません。つまり、言葉の力を育てるということは、すなわち子どもの「心を育てること」と密接につながっているのです。

だからこそ、子どもたちの豊かな心を育むためには、最も身近にいる私たち大人の言葉遣い、つまり「言語環境」が極めて大切になります。子どもは、大人の言葉を聞いて育ちます。学校では、子どもたちが集団の中で安心して話せる環境を整えるとともに、自分の思いを相手に分かりやすく、かつ思いやりを持って伝える話し方について丁寧に指導を行っているところです。

本来、言葉は自分の気持ちを伝えると同時に、相手を深く理解し、人と人との温かくつなぐ大切なものです。そして、適切な言葉遣いは一朝一夕で身に付くものではなく、家庭生活や学校生活、社会生活の中での関わりを通じて、長い時間をかけて培われていくものです。

子どもにとって家庭は、多くの言葉を獲得し、言葉遣いを学ぶ「最も身近で大切な環境」です。学校と家庭がしっかりと手を取り合い、子どもたちを「認め・励まし・褒める言葉」、そして「優しい言葉」で満たされた環境の中で、豊かに育てていきたいと思っております。今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 校外学習の実施(3年生)

9月25日(金)に社会科の学習として「消防署」と「meiji」へ行きました。「消防署」では、消防車や救急車の構造等を消防士さんから説明してもらいました。「meiji」では、食べたことのあるお菓子ができるまでを見学しました。



### 南小中合同研修会の実施

9月28日(月)に南中学校の先生も参加して、合同の教員研修会を行いました。今回は、6年1組の理科の授業を参観し、外部から指導者を招聘して、これからの学びにおける指導について、ご指導をいただきました。



### ☆御礼☆ ミシンボランティアの協力について

9月8日(火)から家庭科の学習として、6年生、そして5年生でミシンを使った布製品作りを行いました。ボランティアさん(学校応援団)の協力を得ながらランチョンマットやトートバッグを作ることができました。



### ☆御礼☆ 除草作業や側溝掃除などの環境整備について

9月27日(日)にPTAの本部役員さんが中心となって、除草作業等を実施しました。たくさんの保護者や児童、地域の方が参加していただき、短い時間で、とてもきれいになりました。ありがとうございました。



## お知らせ・お願い

### 【重要】児童の安全確保に伴う「教室までの送り・迎え」のお願い

お子さんの安全確保と確実な引き渡しを行うため、遅刻・早退の際は、以下の通り ご対応いただきますようお願いいたします。

#### 登校時(遅刻等による)

保護者の方が、必ず当該教室までお子さんと一緒にお越しいただき、直接 教員に引き渡していただきますようお願いいたします。

※車で来校された場合も、駐車場でお子さんだけを降ろさず、当該教室まで一緒にお越しください。

#### 下校時(早退等による)

確実な引き渡しを行うため、当該教室まで お越しください。

※体調不良で保健室からの連絡の場合は、保健室へのお迎えを依頼することもあります。お迎え場所の連絡は、その際にお伝えさせていただきます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。